

波郷 記念館 だより

砂町文化センター
NEWS

第63号



発行日 2024年3月25日

江東区砂町文化センター
〒136-0073

東京都江東区北砂 5-1-7

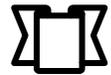
電話 03(3640)1751

第二十三回

石田波郷記念「はこべら」俳句大会授賞式

今回、石田波郷記念「はこべら」俳句大会は二十三回目を迎えました。今年度は、四一九名、八三八句、一昨年、昨年度に引き続き四百名を越える応募がありました。

上田日差し（ひざし）先生、岸本尚毅先生、鈴木しげを先生、徳田千鶴子先生、能村（のむら）研三先生による選考により、はこべら賞、石田波郷記念館賞、特選、入選の各賞が決定し、三月十日（日）、砂町文化センターにて授賞式が行なわれました。



はこべら賞

冬菊や波郷の墓へ幾そたび

中村 阿弥

上田日差し先生特選、鈴木しげを先生入選により、はこべら賞を受賞されました。

【上田日差し先生講評】

作者は忌日にかかわらず波郷の墓をたびたび訪ねる。供花の冬菊は作者が供えたものはわからないが、白菊は神々しく光り、波郷への畏敬の念がこめられている。



石田波郷記念館賞

ちちははに献茶八十八夜かな

今関 十三里

鈴木しげを先生特選により、石田波郷記念館賞を受賞されました。

【鈴木しげを先生講評】

夏も近づく八十八夜。いのちかがやく季節である。ちちはははすでに亡く仏壇にまづは一番茶を献じた。香り立つ新鮮な茶に心が安らぐ一句。



第23回石田波郷記念「はこべら」俳句大会授賞式
選者の鈴木しげを氏（「鶴」主宰）による講評



はこべら賞の中村阿弥さん賞状授与



記念館賞の今関十三里さん賞状授与



上田日差し先生



石田波郷記念館前 短冊

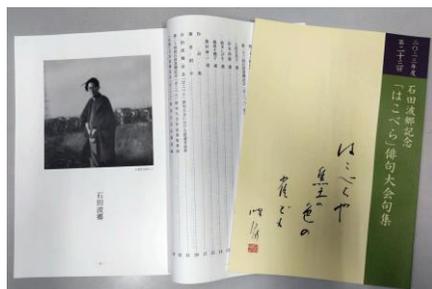
大賞2賞は1年間、
特選の作品は随時、選者
ごとに交代で掲出



岸本尚毅先生



鈴木しげを先生



2023年度第23回
石田波郷記念「はこべら」俳句大会句集

(1冊 500円)

石田波郷記念館 ～館蔵資料と新展示～

石田波郷記念館では、随時、展示替えを行ない、館蔵資料の公開につとめています。

現在は、波郷の創設した俳句結社「鶴」に関する資料、波郷の「はこべらや」句に関する資料を展示しています。

また、3月には展示室内のバナーをリニューアル。新たな写真とともに波郷の俳句を紹介しています。

1. 石田波郷と「鶴」



→

- ❖ 棟方志功が波郷に贈った額「風鶴」と「鶴」現主宰、鈴木しげを句「志功の書「風鶴」寒も明くるべし」。
- ❖ 波郷筆「吹き起る秋風鶴を歩ましむ」色紙も展示。



←

- ❖ 波郷の時代に刊行された貴重な「鶴」。
- ❖ 昭和40年代の「鶴同人会々報」では、現主宰、鈴木しげを氏が、新同人として自己紹介文を寄せている号も展示。
- ❖ 波郷筆「初心」の軸は初公開。



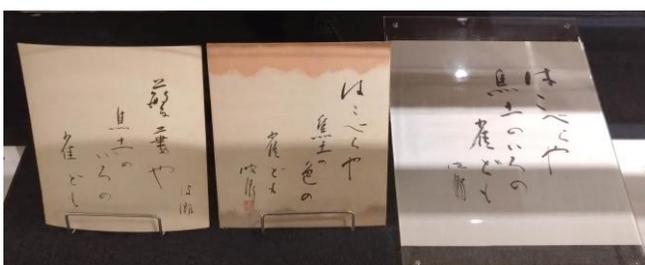
2. はこべらや焦土のいろの雀ども

石田波郷「はこべらや」句は、焦土に生きる人々と復興を詠んだ、焦土諷詠を代表する作品です。

江東区北砂の妙久寺境内句碑は、波郷が生前許可した唯一のものとされています。



波郷と句碑の写真、「鶴」江東支部の記念の手拭、色紙などを展示。 →



← 3点とも波郷の真筆
「はこべらや」句の色紙など。
すべて表記が異なっています。

3. 石田波郷句 展示室内バナー

これまで4枚だったバナーを5枚に増やしました。
バナーの写真もすべて入れ替えて、リニューアルしています。



「ひとり寒し砂町銀座歩くとして」
写真は、波郷撮影の砂町銀座の七夕。



「はこべらや焦土のいろの雀ども」
写真は、「はこべらや」句碑を眺める
波郷の後ろ姿。

「波郷記念館だより」は本号をもちまして終了いたします。今後は、砂町文化センターのホームページ、SNSにより発信を続けていきます。
今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。